



AQU 先端テクノロジー総研 《ニュースリリース》 2011/6/28

報道関係者各位
プレスリリース
2011年6月28日

お世話になっております。
AQU 先端テクノロジー総研と申します。
ニュースリリースをお送りしますので、よろしくお願いいたします。

先端テクノロジー、未来市場創造戦略調査まとまる

自然エネルギー、アンビエント情報環境、脳科学の市場創造戦略調査報告書、完成！

先端テクノロジーによる未来市場創造戦略に関する調査

- 自然エネルギー、アンビエント情報環境、脳科学の市場創造戦略 -

<http://www.aqu.com/mirai-business-research/>

<http://www.aqu.com/aqu-news/2011-6-28.pdf>

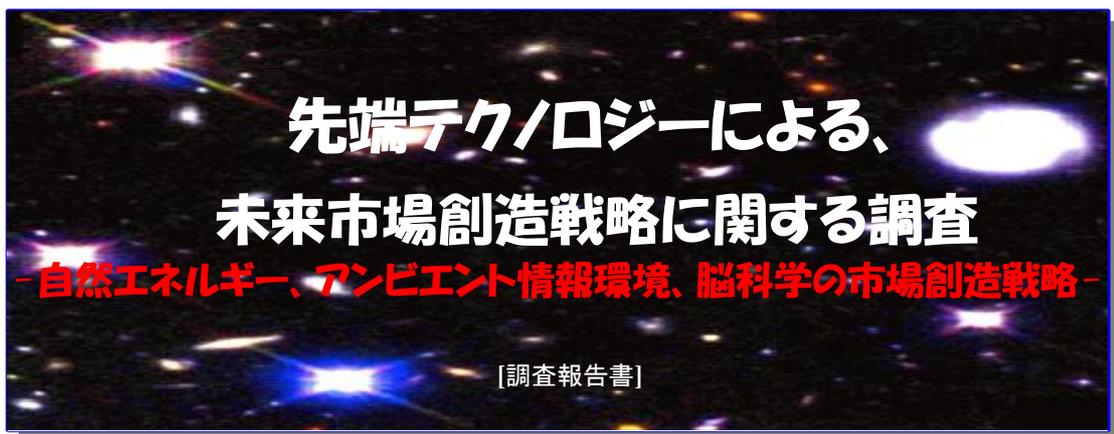
<http://www.aqu.com/mirai-business-research/sample-1.pdf>

<http://www.aqu.com/>

ニュースリリース

内容サンプル

AQU メインページ



先端テクノロジー、未来市場創造戦略調査まとまる

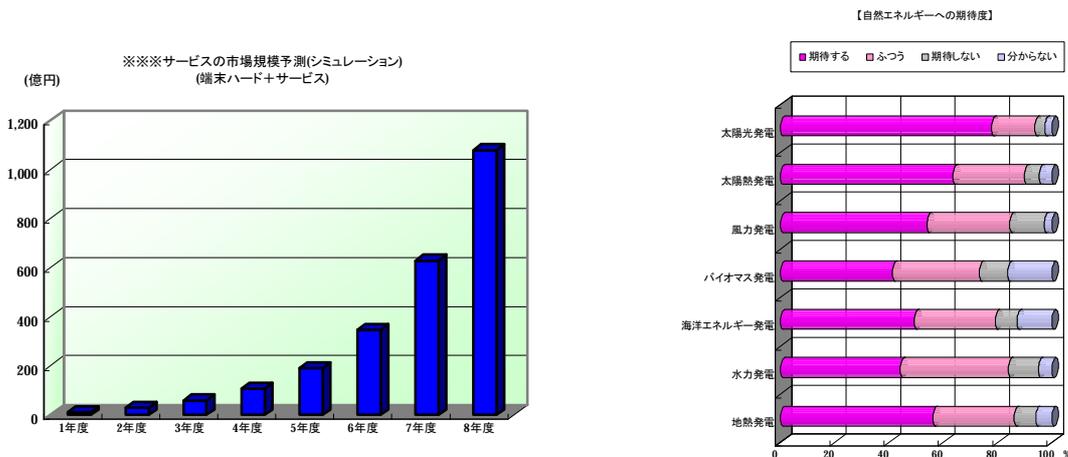
自然エネルギー、アンビエント情報環境、脳科学の市場創造戦略調査、完成！

先端テクノロジーによる未来市場創造戦略に関する調査、完成。民間調査会社の AQU 先端テクノロジー総研(AQUARIUS 最先端研究所)(千葉市中央区、代表、子安克昌)は、このたび、先端テクノロ

ジーによる未来市場創造戦略に関する調査報告書を発刊した。

同調査報告書では、先端テクノロジー関連の市場である、自然エネルギー、アンビエント情報環境、脳科学関連市場において、需要家アンケート調査結果と、未来企画構想の両サイドからまとめている。これまで、最先端テクノロジーが切り拓く未来市場をテーマに、自然エネルギー、ユビキタス、アンビエント、脳科学などの市場調査分析を行うとともに、あるべき未来からの発想をテーマとした調査報告書などを発刊してきた。今回は、こうした調査から抽出された貴重なデータ、情報と、需要家アンケート調査の両サイドを併せ、評価分析している。

同社では、「日本は今、東日本大震災、原発事故という、まさに歴史的な大試練に直面している。しかし、英知の結集、そして先端テクノロジーの活用により、必ずや新生日本としてよみがえるだろう。起業家、ベンチャー、事業開発の人々にとっては、社会貢献という視点を持って、この調査報告書をぜひとも活用し、ビジネス発展してもらいたい。」としている。



【レポート概要】

■ 調査レポートタイトル

先端テクノロジーによる、未来市場創造戦略に関する調査
 - 自然エネルギー、アンビエント情報環境、脳科学の市場創造戦略 -
 【調査報告書】

■ 2011年6月発刊

■ 価格

- 報告書製本版 + CD(PDF電子データ) ¥90,000.- (本体) ¥4,500.- (消費税)
- 報告書製本版のみ ¥30,000.- (本体) ¥1,500.- (消費税)
- CD(PDF電子データ)のみ ¥80,000.- (本体) ¥4,000.- (消費税)

■ レポート体裁 プリント製本 A4 版、PDF ファイル 209 頁

■ ISBN 978-4-904660-18-8

はじめに

我々は時間と空間の中で生きている。とりわけ、時間を管理することは、大切なテーマである。ビジネスとしては、過去の教訓を生かし、現状の実態をとらえた上で、未来を予測し、企画構想、事業を推進していく、という流れがある。

さて、**2011年3月11日**に起きた東日本大震災は、日本の近代の歴史を考えると、明治維新、太平洋戦争敗戦に続く、極めて重要な転換点、といっても過言ではないだろう。復興は言うまでもなく、日本の今後のあり方、とくにエネルギー政策の思い切った見直しが必要との認識が深まりつつある。この意味でもこれから、産業界、一般生活すべてが大転換してゆくと考えられる。

弊社では、これまで、最先端テクノロジーが切り拓く未来市場をテーマに、自然エネルギー、ユビキタス、アンビエント、脳科学などの市場調査分析を行うとともに、あるべき未来からの発想をテーマとした調査報告書なども発刊してきた。これらの調査報告書では、数千人に対するアンケート調査の技術・需要調査結果をふまえ、未来の企画構想をまとめている。

ある先端企業の方針では、大胆な発想と企画を社員にもとめている。大胆な発想と企画とはどのようにしたら獲得できるか？ 単なる夢、直感だけでは満たされないものがある。さまざまな情報分析、高度なテクニカル分析等も必要である。さらにはまた、脳科学的に感性を磨いたり、消費者、需要家の意見なども考慮しなければならない。

そこで、当報告書では、先端テクノロジー関連の市場である、自然エネルギー、アンビエント情報環境、脳科学関連市場において、需要家アンケート調査結果と、未来企画構想の両サイドからまとめることにした。これらは、一見関係ない分野と思われるが、テクノロジーの視点でつながっている点が少なくない。また、思考においては、シングルタスクではなく、「マルチタスク」を誘発し、思わぬ発見、サプライズがあることだろう。こうした関連市場をつなげた、このような調査報告書は今までなかったはずである。

繰り返しになるが、今回の福島原発事故を契機に、自然エネルギーへの期待が一気に高まってきた。弊社では、これは単なるブームではなく、エネルギーのパラダイムシフト、ひいては、人類のエネルギー、社会システムの大転換につながるものであると考えている。

そこで、変化こそチャンスであり、起業家、ベンチャー、事業開発の人々にとって、今後、新たなビジネスチャンスに対して、どう取り組めばよいか、当報告書では、適切な事例とともに、構想、企画提言をしている。

当報告書が皆様のビジネス成功、社会貢献、よりよい社会づくりのために、少しでも寄与できれば幸いである。

AQU先端テクノロジー総研

※お問い合わせ連絡先

株式会社 AQU 先端テクノロジー総研

<http://www.aqu.com/>

〒260-0027 千葉市中央区新田町 36-15

千葉テックビル 6F FLPC

TEL 043-204-1258

FAX 043-204-1316

子安、那須

info@aqu.com
